

クラス番号	614	担当教員名	永井 健
テーマ	社会的養護、家庭支援の在り方、学童保育を考える		
著書・論文	主著：『児童福祉ぎふ』NO. 48～NO. 50 調査研究委員会報告・共著 『子どもと福祉』VOL2「現場実践レポート」（明石書店） 『子どもの社会的養護内容』（福村出版）共著		
研究課題等	『心の地図を広げる安全パートナーリングと三つの家』（パートナーリング岐阜）共編・共著 研究課題：児童養護施設で暮らす子どもとの向き合い、家族応援の工夫、職員と子どものチームワーク、		

ゼミナール概要

キーワード：社会的養護、児童養護施設、子どもが主人公の施設づくり、安全パートナーリング、学童保育

目的、内容、方法等：

担当者はこれまで、学童保育指導員や児童養護施設指導員～施設長の経験の中で、多くの子どもたちとかかわってきました。その中で、子どもが主役となった生活づくりとはどんなことか、子どもと向き合うとはどういうことか、家族支援の在り方等を考えながら働いてきました。

児童養護施設をはじめとした社会的養護は、家庭に変わって子どもが暮らす場所として、学童保育は放課後の発達保障の場として生き生きとつくり上げて行くことが大切です。

どちらにも求めることは、子どもが主人公の生活づくり実践とそこで働く職員の労働条件の保障です。現状ではどちらも十分とはいえませんが、その歴史や今の根拠法の推移等を学びながら、よりよいあり方を考えて行きます。

安心安全ということがキーワードのように語られる時代ですが、もう少し深くみると「生活の質」が問われていることに気づき、その向上を目指さなければならないと思います。

授業計画：

- ① 社会的養護について学ぶ（児童養護施設の実践指針より） ②集団あそび体験 ④子どもと向き合う工夫について学ぶ ⑥家族支援について学ぶ ⑤研究レポートの作成

☆連絡事項

- ・このゼミを希望される皆さんは、エントリーシートに①社会的養護または学童保育に関心を持っているテーマと希望理由を記載してください。
- ・ゼミが決まった学生は、今後の連絡等のため、教員へメール（t-nagai2@ob.aitai.ne.jp）をしてください。
- ・使用テキストは、今後お知らせします。

担当教員からのメッセージ



今の子どもたちが置かれた状況を、皆さんの体験も含めた語り合いを通して身近に引き寄せながら、子どもたちと向き合う工夫、家族支援の工夫等実践的な学習ができるゼミにしたいと考えています。将来、社会的養護の現場等で働きたいと考えている学生を歓迎します。

また、学童保育に関心のある学生も支援します。